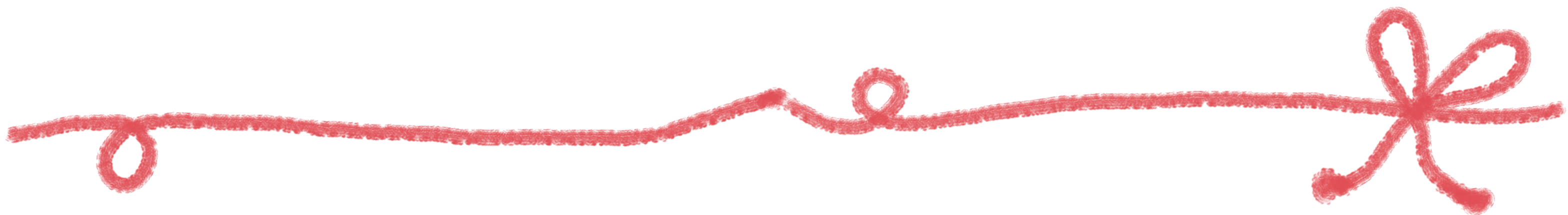


令和3年度
東栄町まちづくり実行委員会

— 結び —

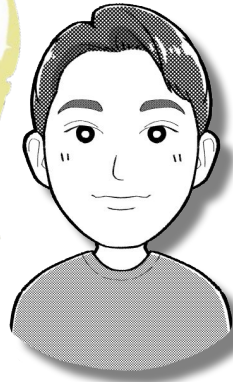


令和3年度 東栄町
まちづくり委員会

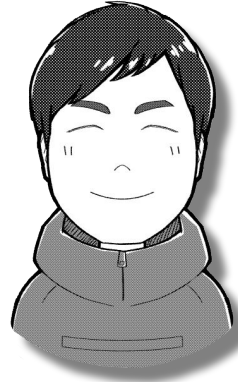
今年度は「座談会」をやらない!?

疑問をもち、学び、葛藤を乗り越えて決断し、試行した
私たちの1年間——。

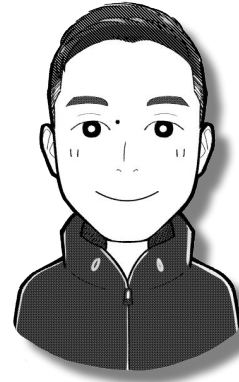
毎日笑顔で
頑張ります!



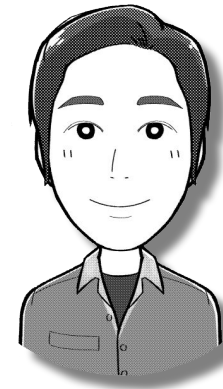
〇〇の原です。
なんて言えば
いいんだろう。



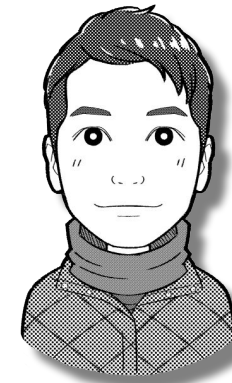
こんな会議、
ハジメテ♡



今日も楽しんで
良い日を過ごし
ましょう。

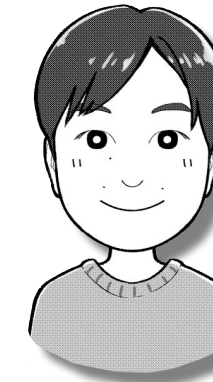
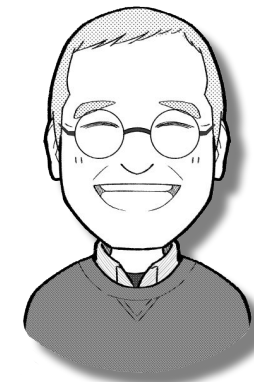
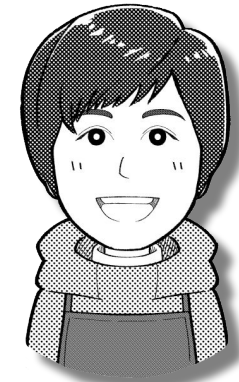
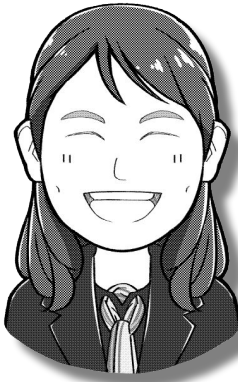
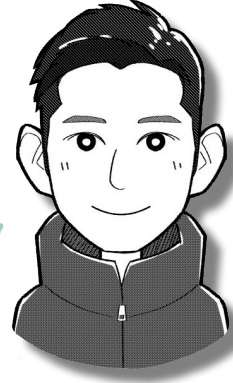


移住6年目。
喘息よくなった!



おむすび屋は本当に
できるのだろうか?

毎回楽しみでした。
1年間
ありがとう!



10人目の孫が
生まれました!🍀

早くマスク無しの
皆さんの顔が
見たいです🌟🌟

勝手に👉
観光大使!

『まちづくり基本条例』
は町民の明るい未来と
知りました!!

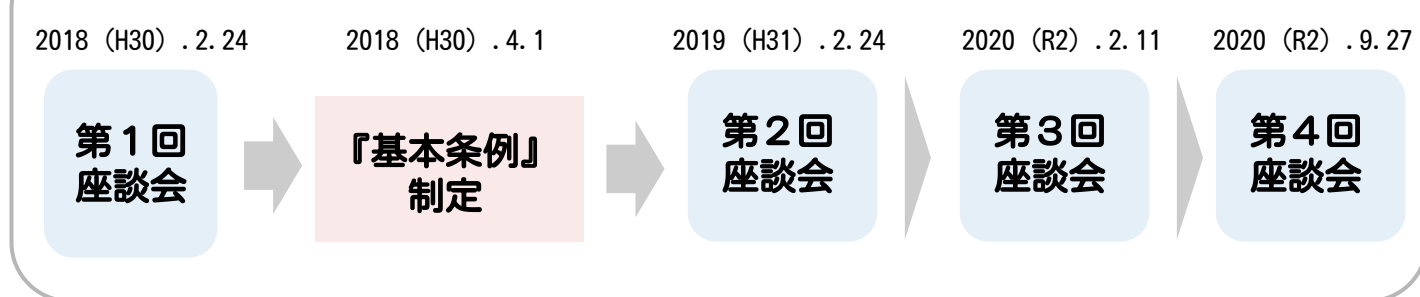
パンドラの箱
開けちゃった♡



はじめに

2018年（平成30年）2月に、第1回目となる「東栄町まちづくり座談会」を開催し、同年4月に『東栄町まちづくり基本条例』が制定され、これまで、全4回に渡って座談会は行われました。

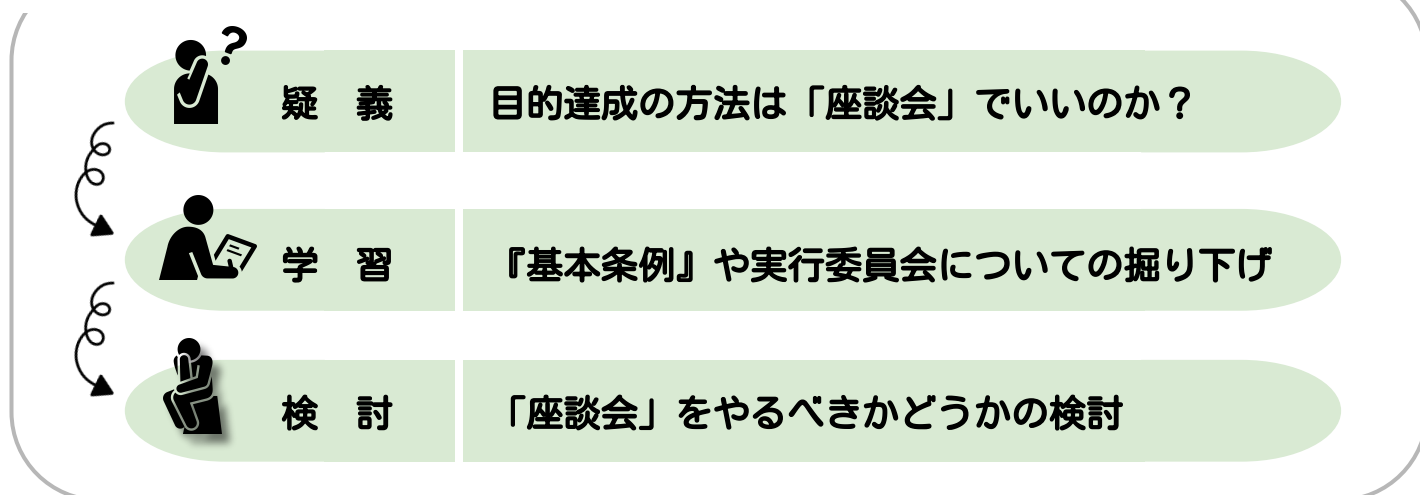
これまでの経緯



そして今年度も、例にならって「東栄町まちづくり実行委員会」委員の募集がされ、計8回の会議を行いました。

今年度の東栄町まちづくり実行委員会で行った会議の前半では、「目的達成のための方法」について疑義が出され、学習・検討をしました。

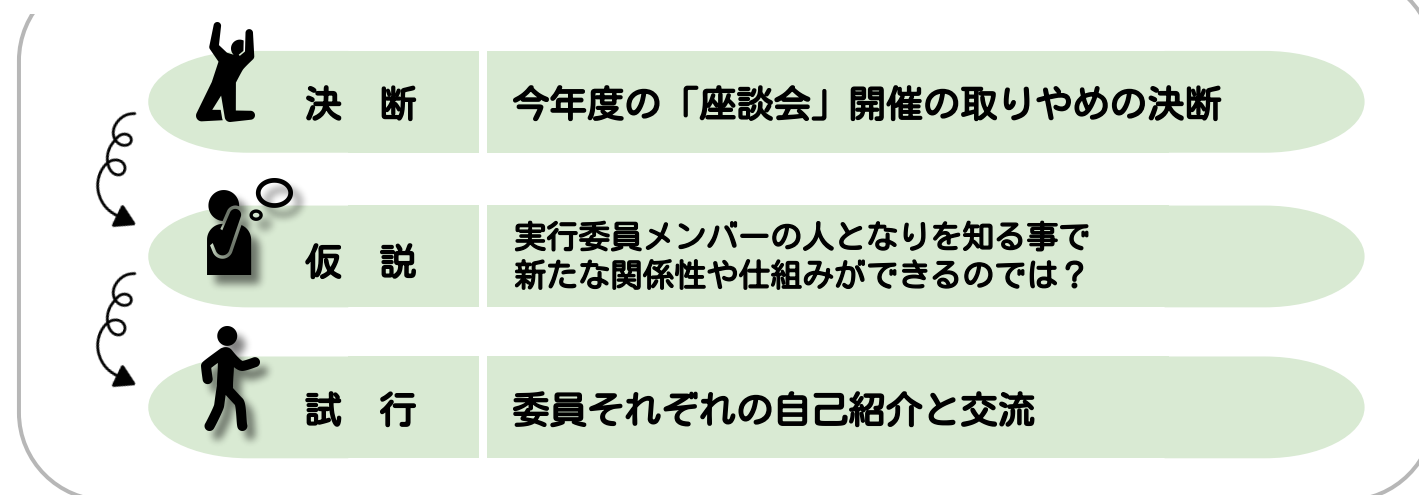
今年度の実行委員会会議の前半



論点を整理し議論する中で、様々なアイデアが出されると同時に、「まちづくり実行委員会」の役割や目的、その存在意義を問うまでに至りました。

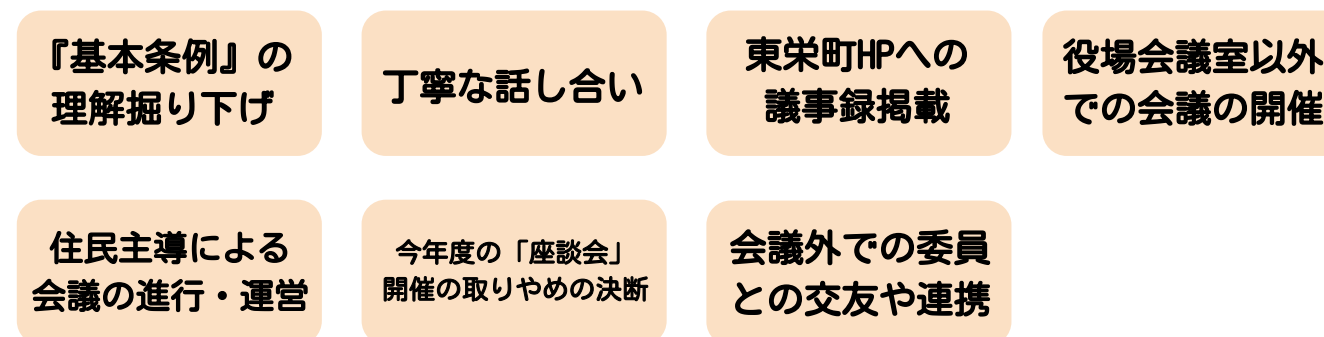
そして、葛藤しながらも今年度の「座談会」の取りやめを決断をした私たちは、会議の後半において、私たち自身がお互いの事を知るための会議を試行するところまでたどり着いたのです。

今年度の実行委員会会議の後半



今年度の実行委員会の主な成果としては、以下の7つが挙げられます。

今年度の実行委員会の成果



特筆すべきは、今年度の「座談会」開催の取りやめの決断です。時に、何かを安易に実施することは簡単ではありますが、従来続けてきたことを「やらない」決断は、非常に難しいものであります。

この成果は一重に、委員全員参加による真摯な話し合いの結果によるものであり、結果に至るまでの過程を大切にしてきたからこそできた決断であります。

また、委員同士が会議外で交友をもち、それぞれの事業における課題解決のため連携して、新たな活動の兆しが芽生えることもありました。このことは、まさに『基本条例』が示す「協働」の状態を体現するものの一つであったと言えます。

これら実行委員会の成果や会議のプロセス、それぞれの委員の感想を残し、次年度以降の補助線とするために、ここに、「令和3年度東栄町まちづくり実行委員会」のまとめを「結び」として残します。

もくじ

1 実行委員の感想

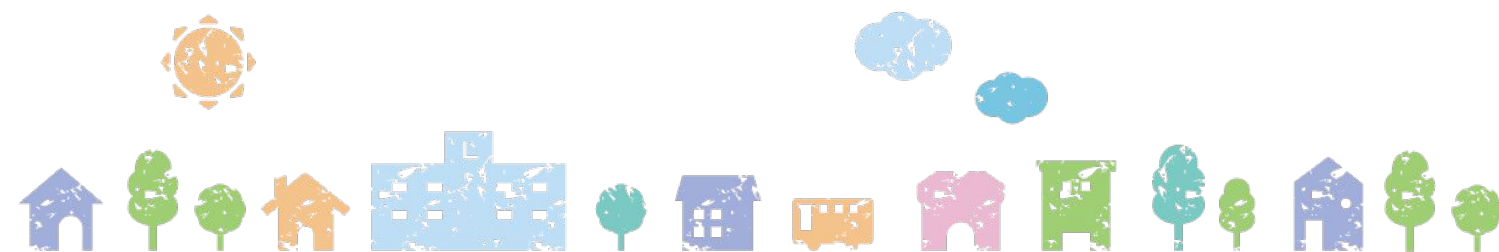
2 実行委員会会議

[会議の経過と論点整理]

3 今年度のまとめ

[今年度の成果／会議で出たアイデア]

付録



1

実行委員の感想

今年度の実行委員が、約1年間の実行委員会を終えてそれぞれの視点で感想をまとめました。

委員一人一人が、そのそれぞれの感想をお伝えします。



みんなで話し合っ考えることが「まちづくり」の
自分の考えが広くなり、とても刺激を受けました。

まちづくり実行委員会会議で、印象に残ったことや良かったなと思えたことはありましたか？

—— 実行委員会会議で印象に残ったのは、「みんなで話し合っ考えることがまちづくり」という委員の方のセリフでした。これはとても共感できた一言でしたし、1年間の会議を通して話し合うことの大切さを実感できました。

また、毎回の会議で、いろいろな世代の人や職業の方の意見や考えを聞いて自分の考え方が広くなり、とても刺激を受けました。自分が住んでいる町のことを、役場の方や同じ町に住んでいる方々から聞く事ができ、東栄町のいいところや、支援の手厚さを改めて知ることができました。

会議では自分の無力さを痛感することも
いろいろな方の意見を聞いて、とても勉強になりました。

まちづくり実行委員会に参加した感想・意見などを教えてください。

—— まちづくり実行委員会に参加した理由は、山本貴子さんに誘われて、ちょうどその頃東栄町に1年間いることになったこともあり、いろいろ経験したいなって思って軽い気持ちで参加しました。

しかし、他の委員さんは意識の高い方ばかりで、なかなか話についていけなかったり、理解できないことがあったりして、自分の無力さを痛感することもありました。

今の自分にはない、深くて知的な意見や面白い意見を聞くことができ、とても勉強になりました。

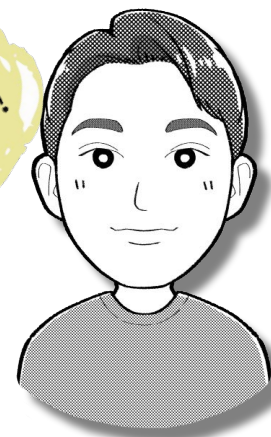
夢を追いかけてながら、
いつか東栄町に恩返しができるよう頑張りたい。

最後に、何か伝えたいことがありましたら教えてください。

—— 来年はまた東栄町から離れることになるけれど、自分の夢を追いかけてながら自分が東栄町に何が出来るかを考えて、また帰って来た時に、東栄町に恩返しができるように頑張りたいです。

委員の方の中には、田んぼでお米を作っている方々もいましたので、自分にもお手伝いできる事があったらやってみたいです。

毎日笑顔で
頑張ります！



伊藤 優希

今年度の座談会の開催を見送る合意形成がとれました。
会議で得られた結論を全員で共有し、引き継がれるといい。

まちづくり実行委員会会議で、印象に残った出来事がありましたか？

—— 当初、行政で設定した、「まちづくり実行委員会主催の条例の浸透を目的とした座談会の開催」という会議の主旨に対して、条例制定からの経緯や座談会開催の目的について、制定時から関わる委員や行政、今年度から関わる委員など様々な立場から意見交換され、今年度は座談会の開催を見送る合意形成がとられたことが印象に残りました。

しかし、「座談会の開催」に代わる方法を明確にすることはできませんので、1年間の会議で得られた結論を委員全員で共有して、その結論が来年度以降に引き継がれるといいです。

全体で合意の取れた結論を出す難しさや、
結論に至るためのプロセスの重要性を体感できました。

まちづくり実行委員会会議で、良かったなと思えたことや、会議外での変化はありましたか？

—— それぞれの立場や思想などで、意見や求めるものが異なり、その中で全体で合意のとれた結論を出す難しさや、そこに至るためのプロセスの重要性を体感できました。また、会議以外のところでは、普段の生活では関わることの少ない立場（特に行政）との接点をもつことができました。

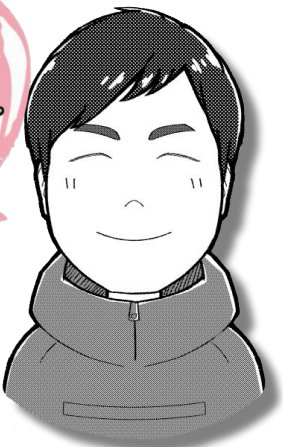
行政とより身近で前向きで対等に関わることができました。
より良い関わり方ができるようにしたいし、自分も磨きたい！

最後に、まちづくり実行委員会に参加した感想・意見などを教えてください。

—— 普段の生活では、役場のおかげでできていることは実感が少ないし、身近な関わりだと申請や補助など頼る機会が多いです。実行委員会に参加することで、行政と、より身近で前向きで対等に関わることができました。

さらに、会議の取り回しや成果品の委託など、町民でもできることを模索する機会もありました。いろいろな場面で、互いにとってより良い関わり方ができるようにしたいし、それに参加できるよう自分を磨きたいです。

立場が変わると
考え方も、役割も
当たり前のことを
改めて学んだ。



原 寿則

まちづくりは人づくり。
足元の関係性を築いていくことが結果につながる気がしました。

まちづくり実行委員会会議で、印象に残ったセリフはありましたか？

——— 今まで、「まちづくり」って言葉だけが一人歩きして、雲の様にぼんやりとしたものでした。ただ、和合さんの「まちづくりは人づくり」という言葉を聞いて、足元の人間関係を作ることが結果として自分の身の周りが良くなることにつながり、基本条例で言うところの、互助、共助が満たされていくのではないのかなと、思うきっかけを頂いた気がしました。

座談会を開催しないという結論を出せた会議。
その会議に参加できた事自体がとても良い経験でした。

まちづくり実行委員会会議で、良かったなと思えたことはありましたか？

——— まず、東栄町の出身でもなければ在住でもない私を、受け入れて頂いたことに感謝しております。さらに、このメンバーに出会え議論を重ね、糟谷さんが「以前の打ち上げ花火的な座談会は歴史的役割を終えたような気がしてきた。」と言われた様に、前年度の様な座談会を開催しないという結論を出せた会議に参加できた事自体が、私にとってとても良い経験となりました。

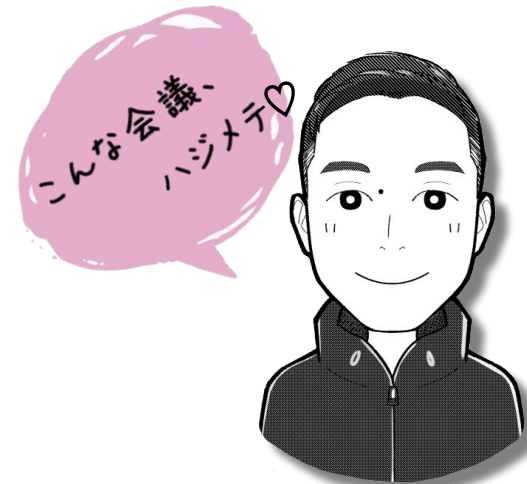
このメンバーだから進むことができた。
あまり話をできなかつた委員の方と もっと話をしてみたい！

最後に、まちづくり実行委員会に参加した感想・意見などを教えてください。

——— 行政が主催の会議で、これだけ自分たちの意見が自由に言える場はないのではと思います。

今回は、このメンバーだから何となく進む事が出来たのかと思います。次年度以降は募集の段階からある程度具体的（会議の目的内容、会議の進め方、報酬等）にしないと、今回の様に進まない可能性もあるのではないかと思います。

あまり話をできていなかった委員の方と もっと話をしてみたいです！



澤井 一慶

会議に参加して、自分にとって新たな発見がありました。
色々な視点や立場で物事を考える事も重要。

まちづくり実行委員会会議で、良かったなと思えたことや、会議外での変化はありましたか？

——— 実行委員会会議では、自分にとって新たな発見がありました。

それは、委員の皆さんが様々な考えで東栄町をよりよい町にしたいと思っており、何か動きたいと考えていることを知れたことです。会議に参加する前は、こんなにも町の事を思って行動したいと考えている方がいるとは思っていませんでした。

また、これまでは自分視点で狭い範囲の物事を中心に考えをまとめることが多かったのですが、実行委員会に参加したことで色々な視点や立場で物事を考えることも重要という事がわかり、日常生活にも変化がありました。

今年度の座談会を行わないという方向になった事が印象的でした。
「まちづくり」を謳うのであれば関係機関の方も交えると良いのでは。

まちづくり実行委員会会議で、印象に残ったことや感想・意見などを教えてください。

——— 印象に残ったのは、今年度は座談会を行わないという方向になった事です。紆余曲折ありましたが、会議で様々な意見が出され、みんなで検討を重ねた上でぶれる事なく決断できたと思います。

ただ、今年度は座談会を行わないという選択をした後、何をするか意見がまとまらなかった事は心残りでした。今後、「まちづくり」と謳って実行委員会を続けていくのであれば、観光まちづくり協会や関係機関・部署の方も交えて会を行って、何をするか考えていければ良いのではないかと思います。

いろいろな立場の方が出会って交流し
助け合いの町につながるような場所ができるといい！

最後に、何か伝えたいことがありましたら教えてください。

——— 会議の中のアイデア出しで、「異業種交流会」のような事があるといいなと思い発言してみました。

起業や事業の発展もまた、「まちづくり」の一つではないかと思っておりますので、いろいろな立場の方が出会って交流し助け合いの町につながるような場所ができるいいと思います。



森田 泰史

実行委員会の会議は理屈抜きで楽しかった！

まちづくり実行委員会に参加した感想・意見などを教えてください。――

―― 実行委員会の会議は、理屈抜きで楽しかったです。発言内容の自由が担保されたのは、発言者への深い配慮がなされたからでしょう。東栄町の魅力・可能性が大いに引き出されたと思います。ビバ・東栄町！！

情報の公開・共有の大切さを再認識

毎回3時間近くの会議は飽きることがありませんでした。

まちづくり実行委員会会議で、印象に残ったことや良かったなと思えたことはありましたか？――

―― やはり、立場や意見が異なっても、『まちづくり基本条例』を学び、それぞれの暮らしのなかで活かすという一点で、豊かな議論ができたことです。今後活かせるヒントが満載でした。

この間、議会傍聴や町の医療（小規模な入院・透析）を守る住民運動を続けていますが、『まちづくり基本条例』を繰り返し学んできました。情報の公開・共有の大切さを、再認識できました。

他にも、1. 委員の工夫で、何度も楽しいスライドによる説明があり、リラックスして会議に参加できたこと。2. これまでの実行委員会の活動を振り返り、今期の委員が学習と議論を重ね、今年度の座談会を中止したこと。これは、決してネガティブな意味での中止ではなく、結論ありきの議論より、今後の何か新しいものにつながる「小休止」のような、ポジティブな意味で「中止」を受け取ることができたこと。3. 委員の意見で、実行委員会の議事録が町のホームページに公開されたこと。同時にバナーもついたこと。4. 『まちづくり基本条例』を学び直せたこと。条例制定の価値は、もっと広く知られるべきだと思います。5. さまざまな立場の委員の意見を、じっくり聞いたこと、等があります。

毎回3時間近くの会議は、私にとって飽きることがありませんでした。

外に向かって何かやれないか、町のために何かできないかと、考えるきっかけを与えていただきました。

最後に、これからやってみたいなと思っていることがありましたら教えてください。――

―― 私は普段、本を読み、小説や批評を書いている毎日なので、起業されたり、事業経営をされる町民のみなさんへの敬意があります。なにより勇気と配慮を感じました。私も、外に向かって何かやれないか、町のために何かできないかと考えるきっかけを与えていただきました。



浅尾 大輔

東栄町のために！

このメンバーでのバランス関係が好き！ 自身の成長にもつながりました。

まちづくり実行委員会会議で、良かったなと思えたことはありましたか？――

―― このメンバーと約1年間一緒に進められたことがよかったです。和合さんの素直な気持ち、糟谷さんの言葉の選び方、貴子さんのアイデア、三樹雄さんのワーク、江里子さんの気づき、原さんのまとめ、尾崎さんの手放し、森田さんの一貫したつつこみ、浅尾さんの優しさ、ゆうきさんの夢、澤井さんの発想・などどれもなくてはならなかったし、絶妙なバランス関係があったからこそ、やれたことだと思います。

委員のみなさんのおかげで、自分自身もほんの少し成長することができたと実感しています。ありがとうございました。

キーワードは場所・プロセス・組織(人)。 座談会開催よりも段階を大切にしたい。

まちづくり実行委員会に参加した感想・意見などを教えてください。――

―― 僕は町内で、サードプレイスを育てていくことに興味をもって事業活動をしています。家庭でも職場でもない、第3の居場所づくりでは、「場所」と「プロセス」と「組織(人)」がキーワードで、どれも欠かせない要素です。

役場会議室ではなくて町中のお店で会議を試みたこと（場所）、今年度の実行委員会が、いつかまちが力を取り戻した時に自分たちの力でやるべきであろう座談会を選ばずに、ゼロから段階を踏もうとしたこと（プロセス）、メンバーがそれぞれ自分の意志で工夫して実行委員会を成立させようとしていたこと（組織/人）は、僕にとってとても大切なことでした。

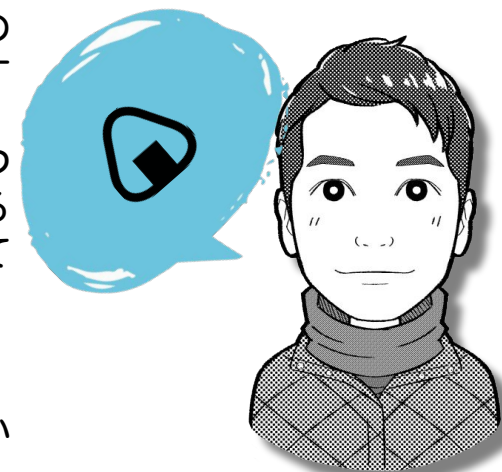
消えかかっている共助を取り戻すために、 新たな方法でアプローチしていきたい！

最後に、これからやってみたいなと思っていることがありましたら教えてください。――

―― 実行委員会で知り合えた方々との会議外での交友で、介護・福祉関係のカフェを定期開催する話が持ち上がり進めております。

詰まるところ現代の「まちづくり」は、かつては自然にあったけれど今は消えかかっている「共助」を、人口減少する中でいかに工夫して取り戻すかと、僕は捉えました。

この介護・福祉関係のカフェの開催などで、「共助」を取り戻すために新たな方法でアプローチしていくことが、自分にできるささやかな「まちづくり」です。



木村 圭太

まちづくりは客観的な立場にいたるのではなく、主体的に取り組むことが大切だと改めて考えさせられました。

まちづくり実行委員会会議で、印象に残ったことや良かったなと思えたことはありましたか？——

—— 実行委員のメンバーが、会の運営(構成や司会進行)をしたことが印象に残りました。それぞれができることを活かして協力できたことで、毎回、活発な議論ができたと思います。

また、様々な人と出会えて、人となりを知れたことが良かったです。実際に事業に挑戦している人たちの意見には刺激を受けました。まちづくりは、客観的な立場にいたるのではなく、主体的に取り組むことが大切だと改めて考えさせられました。

町内のサービスを積極的に利用したり、知人に東栄町を紹介することが増えています。

まちづくり実行委員会に参加して、会議外での変化はありましたか？——

—— 福祉分野以外の取り組みを知ることができ、皆さんの熱意に感動しました。単なる消費者としてではなく、地域の事業所を応援していきたいという思いが、さらに強くなりました。

町内のサービスを積極的に利用したり、知人に東栄町を紹介することが増えています。

考えすぎるよりも動き出す事が大事。まずは小さくはじめて、大きくしていきたいです！

最後に、これからやってみようと思っていることがありましたら教えてください。——

—— 地域の事業者と協力して、認知症の人への支援に取り組みたいです。

話し合いに参加したからには、変化を起こしたいと思います。考えすぎるよりも動き出すことが大事。まずは小さくはじめて、大きくしていきたいです。



山本 三樹雄 —8—

東栄町のいろいろな人とのつながりがありました^^ 実行委員会で皆さんに出会えた事が良かった！

まちづくり実行委員会会議で、良かったなと思えたことはありましたか？——

—— 実行委員会では、いろいろな人とのつながりをもつ事ができました。最初は、「まちづくりに興味がある方々ってどんな人たちなんだろう？」と思っていたが、会議を重ねるごとに委員の皆さんの人となりを知る事ができて、皆さん一人一人の事にとっても興味をもちました。

まちづくり実行委員会、皆さんに出会えた事がとても良かったです。

困っている人に声かけができるように。人と人をつなげることも一つの「まちづくり」。

まちづくり実行委員会の会議外での変化はありましたか？——

—— 以前は、町のいろいろな方から困った事などのお話を聞いた時に、自分でもどうしたらいいかわからずにいました。自分ができる事は本当に限られていて、助けたくても助けられなかったんです。

実行委員会に参加してからは、委員の皆さんがそれぞれ町でやっている事を知り、困った事のお話を聞いた時に、「あの委員さんに話してみたら良さそう」と声かけができるようになってきました。町の中で皆さんがしている事が分かってきたことで、人と人をつなげることができるようになってきましたし、これも一つの「まちづくり」なんだなって思えるようになりました。

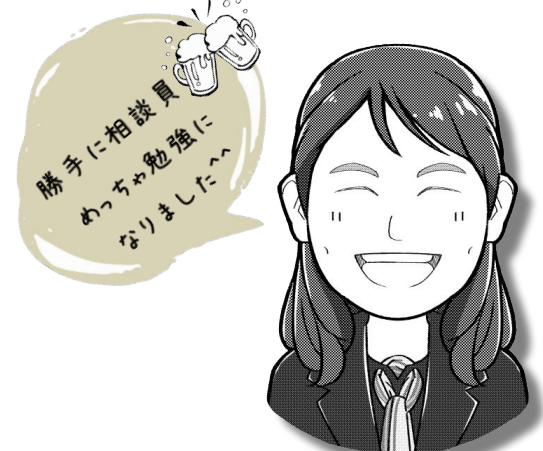
情報を共有する事が大切。

役場に聞いたり、解決できる場所につなげていきたい。

最後に、まちづくり実行委員会に参加した感想・意見などを教えてください。——

—— 『まちづくり基本条例』の中では、情報を共有する事について書かれているところがありました。今回実行委員会に参加して、その情報を共有する事の大切さを実感しました。

町の中で働いて暮らしながら、困った事のお話を聞いた時には、役場に聞いたり、解決できる場所につなげていけたらいいなと思います。



井筒 江里子

普通に生活していても、
「まちづくり」をしているなあ~と思うことがあった。

まちづくり実行委員会会議で、良かったなと思えたことや、会議外での変化はありましたか？

—— 実行委員会では、委員の皆さんの思いや考え方を聞いた事が良かったです。議論が白熱して、「ちょっと考えすぎかなあ？」と思うこともあったけれど、様々な地域や職業の方々の話を聞く事ができたのは学びになりました。
また、会議の中で、原さんが「洗濯していてもまちづくり」という事を言われて「なるほど~^^」と思いました。実行委員会に参加して、普通に生活していても、「まちづくり」をしているなあ~と、思う事があったので、それが良い変化かなあ？と思いました。

自分たちでやりたい事ができるという考え方にワクワク!
東栄町で暮らしている事がすでに「まちづくり」。

まちづくり実行委員会に参加して、印象に残ったことや感想・意見などを教えてください。

—— 「今年度の座談会」をやらなかった事は印象的でした。決められた事を考えながらやっていくものだと思っていましたが、自分たちでやりたい事ができるという考え方にワクワクしました。
いろいろな事が「まちづくり」なんだと思いますが、なんと言ってもまずは町で暮らしている事が「まちづくり」と実感。自分が住んでいる上栗代地区での活動を続けながら、今まで通りに生活をしていればいいんだなあと思いました。

上栗代地区では、地域での取り組みを始めています。
「まちづくり」がいろいろな地域の日常になっていったらいいな^^

現在、地域で活動していることがあれば教えてください。

—— 私が住んでいる上栗代地区では、コロナ禍において地域のためにどのような事に取り組めるか検討会を行いました。検討会の結果、保存食を振草郵便局で販売したり、検討会のメンバーが高齢者の方に元気確認をしたりする取り組みを始めています。
このような取り組みが一つの「まちづくり」として、いろいろな地域の日常になっていったらいいな^^と思います。



山本 貴子 —9—

町内の色々な活動は、
条例に基づく活動なのかなと思うように(笑)

まちづくり実行委員会会議で、良かったなと思えたことや、会議外での変化はありましたか？

—— 東栄町に『まちづくり基本条例』というものがあったことを知り、またその内容が住民の言動指針のようになっており素晴らしいことを知りました。
今年度の実行委員の皆様は個性的で見識に富み、素敵な方々と知り合うことができました。今では、東栄町の色々な活動を『まちづくり基本条例』に基づいて活動されているのかなと思ってしまうようになりました(笑)。

建設的で互いをリスペクトする意見交換は素晴らしい体験でした。
一年間の会議の中で東栄町の明るい未来を感じました。

まちづくり実行委員会に参加した感想・意見などを教えてください。

—— 『まちづくり基本条例』を学び、そのことを町民に浸透させるという高度な目的(役割?)については何度会議に参加しても明確に浮かんでいませんでした(自分の力不足と理解不足を痛感しました)。条例を町民に浸透させるにはどうしたら良いのか?堂々巡りの地獄のスパイラルに陥りました。
実行委員の皆様が建設的でお互いをリスペクトしている意見交換ができたことは、素晴らしい体験でした。皆様と会議を通じてお知り合いになり、役場の尾崎さんの存在、お若い方々の参加など、一年間の会議の中で、東栄町の明るい未来を感じました。

このような会議で成果と次の課題を積み上げていけば良いのでは。
ボランティア情報や「まちおこし」的な具体的活動等を広報してほしい!
最後に、何か伝えたいことがありましたら教えてください。

—— 町全体としては課題が沢山あると思いますが、このような会議の積み重ねの中で成果と次の課題を積み上げていけば良いのではないのでしょうか?毎年の成果と課題を実行委員で話し合い、文書で残した方が良く考えています。また、実行委員会の性格付けを明確にして公募することを望みます。
今後は行政の方から、ボランティア情報の紹介や、「まちおこし」的な具体的活動と行政からの支援の紹介等、広報活動をしてほしいです。



糟谷 成美

重要なのは、丁寧な対話の積み重ねを経た合意の
委員の皆さんと町民として関わっていきたい。

まちづくり実行委員会に参加した感想・意見などを教えてください。――

―― 普段の仕事では、住民の方々と深い議論をする機会はほとんどないのですが、今年度のまちづくり実行委員会では、とても深い議論がされました。

話を深める中で、行政の立場についてや、行政が決めることの重みや責任についての恐ろしさに気付き、丁寧な対話の積み重ねを経た合意の重要性を確信しました。

また、委員の皆さんのことをより深く知れたので、今後も町民として皆さんと関わっていきたいです。

「座談会を開催しなくてもいい？」という意見が印象的だった。
委員のみなさんの真剣な取り組みには胸を打たれました。

まちづくり実行委員会会議で、印象に残った出来事がありましたか？――

―― 最も印象に残ったのは、第1回目の会議において、「座談会を開催しなくてもいい？」という選択肢が意見として出されたことです。この意見をきっかけに、委員の方々と一緒に丁寧な対話を積み重ね、決断に至りました。

また、木村さんの『基本条例』の掘り下げと図解解説、山本三樹雄さんのワーク、和合さんの過去の委員の方々へのヒアリングなど、委員のみなさんの真剣な取り組みに胸を打たれました。

目的を明確に共有できなかつたことが引っかかっています。
仲間の大切さを改めて実感。

最後に、何か伝えたいことがありましたら教えてください。――

―― 会議の中で、目的を明確に共有できなかつたことが引っかかっています。「『まちづくり基本条例』の浸透」という目的は行政が作ったものであり、今年度の議論を通して本当にそれでよいのかという疑問が浮上しました。

悩むことが多く、楽しい会議から苦痛(?)なものになっていきました。自分の無力さと行政課題に悩むことが多かったのですが、同時に、仲間の大切さを改めて実感することができました。



尾崎 あゆみ —10—

形よりも、内なるものを深掘りする、
価値ある実行委員会となりました！

まちづくり実行委員会会議で、良かったなと思えたことはありましたか？――

―― 今年度の実行委員会では、「司会・進行を委員がそれぞれ担当してみたらどうか？」という斬新な提案があり実行してみた事が良かったです。これによって、「主催者」と「参加者」という関係ではなく、会を自分事として捉え、本質的な問題に真剣に向き合う事ができたと思います。

また、心のワークもとても良かったです。自分に向き合い見つめる事で新たな気づきがあると同時に、委員の皆さんが同じような気持ちであると心情を共有できた事で、私自身の中に確かな手応えがありました。

今年度の実行委員会は、形より内なるものを深掘りする価値ある実行委員会となり、今回の会のメンバーの一人であれたことが何より良かったです。

実行委員会では、それぞれの色・持ち味が調和されていた。
町を守り、発展させるためのヒントを見つけられた。

まちづくり実行委員会に参加した感想・意見などを教えてください。――

―― 会には、幅広い年齢、多種多様な職業の、とてもカラフルなメンバーが揃っていました。意見を尊重し合う丁寧な話し合いにより、それぞれの色や持ち味が調和されていたと思います。

そして、「まちづくり」について議論を掘り下げながら論点を整理するに従って、何のためにやるのか、本当に必要な事は何か、といった事が見え始めました。

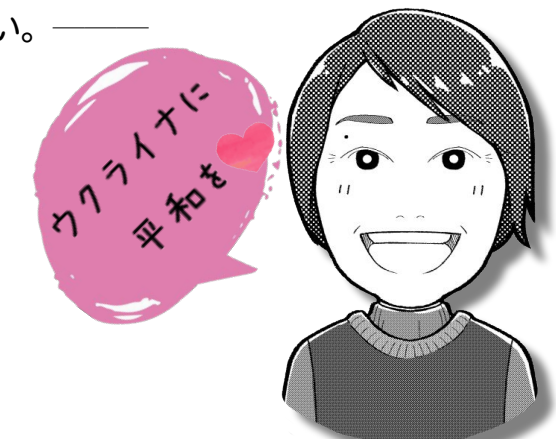
このメンバーと約1年間話し合いを重ねた事で、町を守り発展させるためのヒントを見つけられたように思います。

『まちづくり基本条例』の必要性が確認できました。
進むたびに、必要性や目的を確認し続けられたらいいな。

最後に、何か伝えたいことがありましたら教えてください。――

―― 総じて、今回の実行委員会会議では、『まちづくり基本条例』の必要性を確認する事ができました。

様々な課題を抱えている町の現状に、半ばあきらめの境地になった事もありましたが、小さくてもまだまだできることはあります。これからも、私にできる「まちづくり」を実践しながら、進むたびに、条例の必要性や目的を確認し続けられたらいいなと思っています。



和合 真由美

2

実行委員会会議

令和3年度まちづくり実行委員会会議は、1ヶ月に1回程度の頻度で、全部で8回行いました。会議で行われた話の経過を、論点整理して記録しました。

是非、ご覧ください。



起

— 発案 —

目的▶ 『東栄町まちづくり基本条例』を浸透させるために

方法▶ 「まちづくり座談会」を実施する

第1回会議

「座談会」を開催しようと思います。

「座談会」はどうしてもやらなくてはいけない？

これまで通り「座談会」をやっているのかなあ…？後に続かなかったような…？

役場職員

— 疑義 —

目的達成のための方法についての疑問

第2回会議

『基本条例』を学習する機会があってもいいのでは？

自助、互助、共助、公助が『基本条例』を解釈するヒントになるのでは？

転

— 葛藤 —

「座談会」をやめるにあたっての心理的葛藤

会議後アンケート

「座談会」は歴史的役割を終えたのかもしれないと思い始めてきた…。継続的で未来につながる活動を模索する時期にきているかも。

— 決断 —

今年度の「座談会」開催の取りやめの決断

第5回会議

「条例の浸透」という目的は外せないのでは？「座談会」をやめるなら何をしたらいいんだろう？

事前にやった委員のアンケート結果でも、今年度「座談会」をやった方がいいという方は誰もいなかった。今年度は「座談会」の実施を取りやめます。

この間の充実した議論自体が大きな成果では？

承

— 学習 —

『条例』や実行委員会についての掘り下げ

第3回会議

『基本条例』の学習

『条例』は、かつて当たり前で今は弱っている「共助」を主体的に取り戻すための方法論かもしれない。

「ワーク」

「協働」「参加強制」「監視・批判」「無関心」について考えてみたい。予定調和よりも丁寧な対話をしてみたらどうだろう。

役場職員

— 検討 —

「座談会」をやるべきかどうかの検討

第4回会議

過去の委員ヒアリング結果発表

過去の実行委員さんは来なくなったけど何かしらアクションしている。せっかくの座談会も、委員以外の通常の参加者はその場限りの盛り上がりで次に続く事はない。

アイデア出し

これまでの会議では、「誰がやるの？」「何で条例が必要なの？」等を繰り返し考えてきた。

若い頃にやった町内スタンプラリーはとても楽しかった。

結

— 仮説 —

実行委員メンバーの人となりを知る事で新たな関係性や仕組みができるのでは

第6回会議

メンバー同士を知るために自己紹介をしたいと思います！

やりたいのは自分の手で人助けすること。夢は救急救命士。

町内で起業し、おむすび屋と宿屋を建設中。お手伝いを募集しています。

— 試行 —

委員それぞれの自己紹介と交流

第7回会議

実行委員会で知り合った方と新しい事を始められそう。

困った人がいたら役場や皆さんに相談すればいいと思いました。

第8回会議

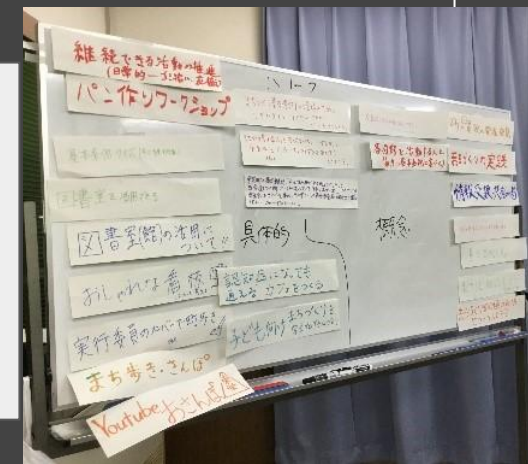
まとめ



第1回
まちづくり実行委員会会議
[令和3年7月13日]



第5回
まちづくり
実行委員会会議
[令和3年11月30日]



第2回
まちづくり実行委員会会議
[令和3年8月24日]



第6回
まちづくり実行委員会会議
[令和3年12月13日]

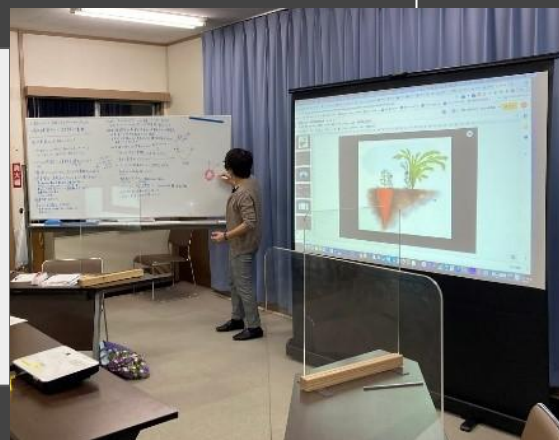


第3回
まちづくり実行委員会会議
[令和3年9月22日]

第7回
まちづくり実行委員会会議
[令和4年2月1日]



第4回
まちづくり
実行委員会会議
[令和3年10月26日]



第8回
まちづくり
実行委員会会議
[令和4年3月11日]



3

今年度のまとめ

今年度の実行委員会会議での成果と、会議で
出たアイデアをまとめ、次年度以降の補助線と
します。

是非、耳を傾けてみてください。

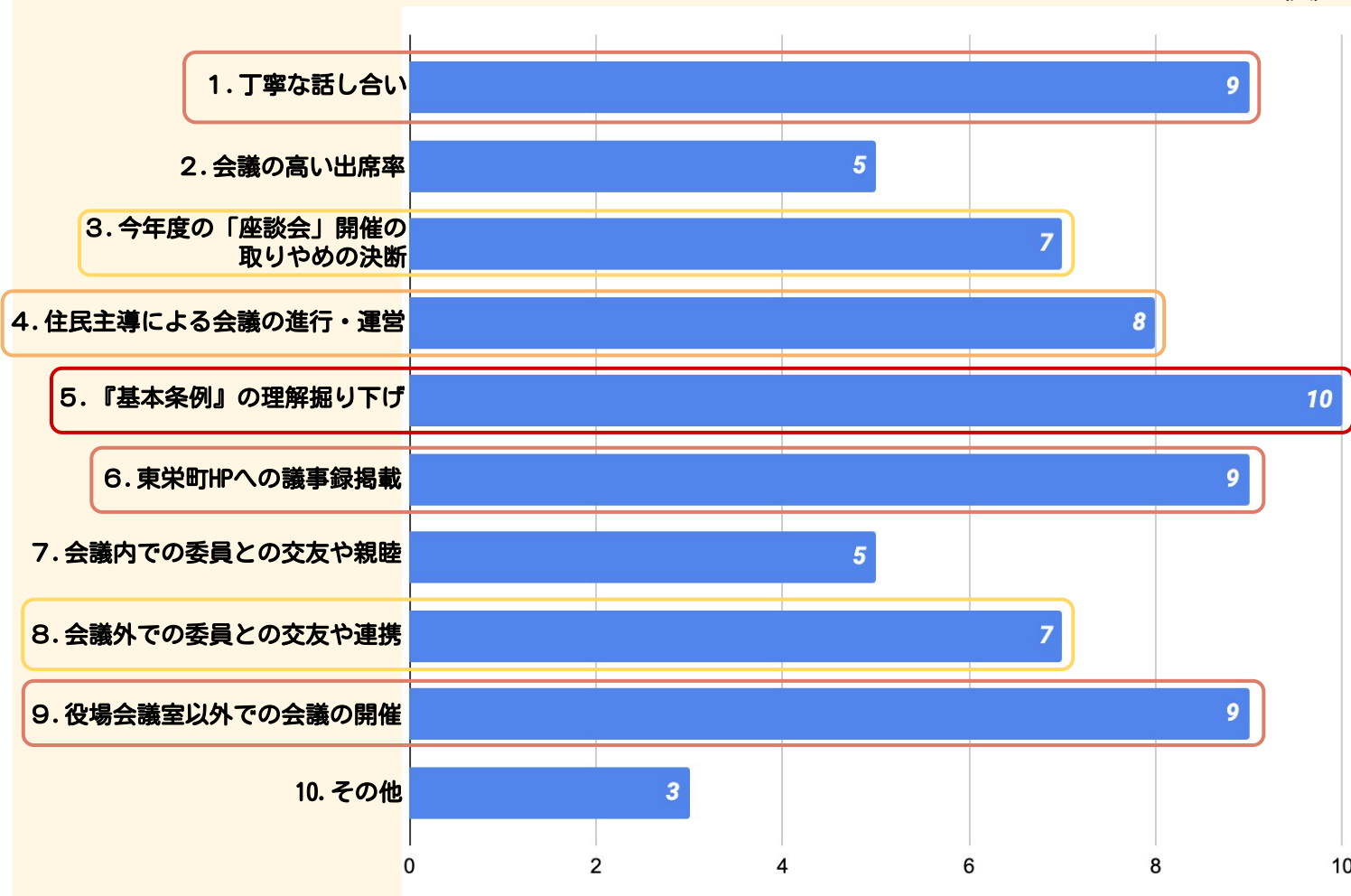


今年度の成果について、委員全員でアンケート回答をし集計しました！

Q) 今年度の「まちづくり実行委員会」会議で、成果と考えられることを選択してください。[いくつでも]

ただし、役場が掲げる「『基本条例』の浸透」という目的を考慮しなくても結構です。

(人)



▼その他の意見

- ・実行委員会自体の町民主権化（会議の主催者の設定した会議の目的について委員会で再検討されたこと、成果物作成の民間（町民）委託）。
- ・実行委員会のラインでの日程・意見などのやり取り。私の認識は、いつも更新されました！
- ・成果物として確認まで至りませんでした。アイコンを作る話し合いがされたことです！！アイコンが決められる過程が基本条例の浸透になると思います。

アンケートの回答で多く選択されたものを、今年度のまちづくり実行委員会の主な成果としてまとめます。

今年度の「まちづくり実行委員会」会議の成果

『まちづくり基本条例』の理解掘り下げ

第3回会議では、委員が『まちづくり基本条例』の解釈を説明し、「基本条例解説」にある図を元にワークを行い、委員全員で『基本条例』の理解を掘り下げました。

丁寧な話し合い

会議全体を通して、前回のふり返りをしたり次回の議題を確認したりして論点を整理しながら丁寧に進めました。また、毎回の会議ではそれぞれが他の委員の声に耳を傾けて丁寧に話し合いを続けました。

東栄町HPへの議事録の掲載

役場で作成している議事録を公開用に手直しし、全て役場HPに掲載して情報発信しました。

役場会議室以外での会議の開催

第7回会議と第8回の会議は、役場の会議室ではなく、まちなかにある委員の事業所（店舗）にて会議を開催しました。

住民主導による会議の進行・運営

第3回会議から第7回会議まで、委員がそれぞれ会議の進行を持ち回り、準備や司会などの運営を積極的に務めました。

今年度の「座談会」開催の取りやめの決断

必要なプロセスを経て、今年度の「座談会」の開催の取りやめを決断することができました。

会議外での委員との交友や連携

会議外で委員同士が交友し、お互いの事業の課題解決のために連携し、町内での新たな活動の兆しが芽生えました。

▶▶ 会議で出たアイデア

会議では、「『基本条例』の浸透」や「まちづくり」のための様々なアイデアが出されました。

実践には至りませんでした。ここにそのアイデアを掲載いたします。

抽象的
(概念)



「座談会」を形や内容を変えて行う

『基本条例』を学ぶ場ではなく気づく場をつくる

観光協会や漁協など各分野で活躍する人と協力して旗を掲げる

『基本条例』の浸透や見直しをする情報共有・交換の場

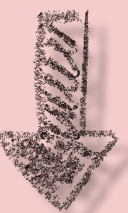
『基本条例』浸透のためのわいわい話す場所

『基本条例』を学びながらアイデア出しする場所

町内の「まちづくり」を収集・整理して実行する事を見つける場所

同じ悩みを抱えている町内の人の話を聞く場所

具体的
(行動)



小さな「座談会」を様々な地区で開催

動画作成して町のHP掲載

子どもを対象とした座談会の開催

図書館の移設や新たな活用

町内の看板をおしゃれに作り直す

町内での自転車スタンプラリー

まち歩きをして公開実行委員会とする

ゴミ拾いや花植えなどの活動継続の支援

『基本条例』クイズ

認知症の方のためのカフェづくり

異業種交流会

実行委員会のアイコンやロゴをつくる

実行委員で劇をしてYoutubeで流す

パンづくりワークショップ

▶▶ 来年度以降、どんな実行委員会なら参加する？

「来年度以降、どんな実行委員会なら参加する？」という質問に対して、委員の意見をアイデアとして出してみました。

実行委員会を開催する上での参考として、ここにそのアイデアを掲載いたします。

▼運営や実施体制に関すること

業務外で町民と同じ立場と条件で役場職員さんが3人以上参加される

役場の各課や観光まちづくり協会も絡めて形を変えた実行委員会

一貫して話をまとめる人(議長など)が必要
(それが役場の職員さんがいいのか町民がいいのかはまだわからない)

▼抽象的なこと (イメージ)

新しい情報や新しい人と出会え新しい発見があるもの

夢を語って実際に行動すること

楽しくて具体的に体を動かすこと

実際に困った事の解決方法を考える

新しい団体を生み出せるもの

自分が興味あるテーマで集まって話をする場

▼具体的なこと

異業種交流会のようなもの

マーク (アイコンやロゴ) を考える

クイズを考えてみんなに答えてもらう

寸劇風な動画を作成し町のHPで公開する

いろいろな人や事業者の方と話せるツアー

公開会議のようなもの

『基本条例』の見直しをする場

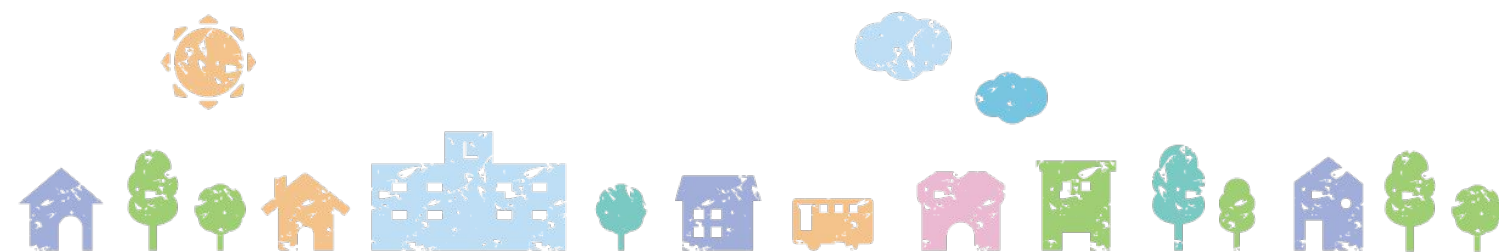
ボランティア活動のような具体的な活動
(「まちづくり」に対して「まちおこし」と表現)

今回の実行委員会会議のような事を「座談会」にしたもの

イベントではなく、今年度のような会議を「まちづくり座談会」と位置づけ、数人のメンバーで毎回「まちづくり」についてトーク

付 録

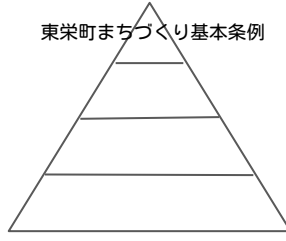
『東栄町まちづくり基本条例』の内容を深めることができる図を、付録として掲載します。



『東栄町まちづくり基本条例』の構成と位置づけ

point 0 『基本条例』はまちづくりのルールブック。

point 1 『基本条例』は東栄町の条例の最上位の条例。



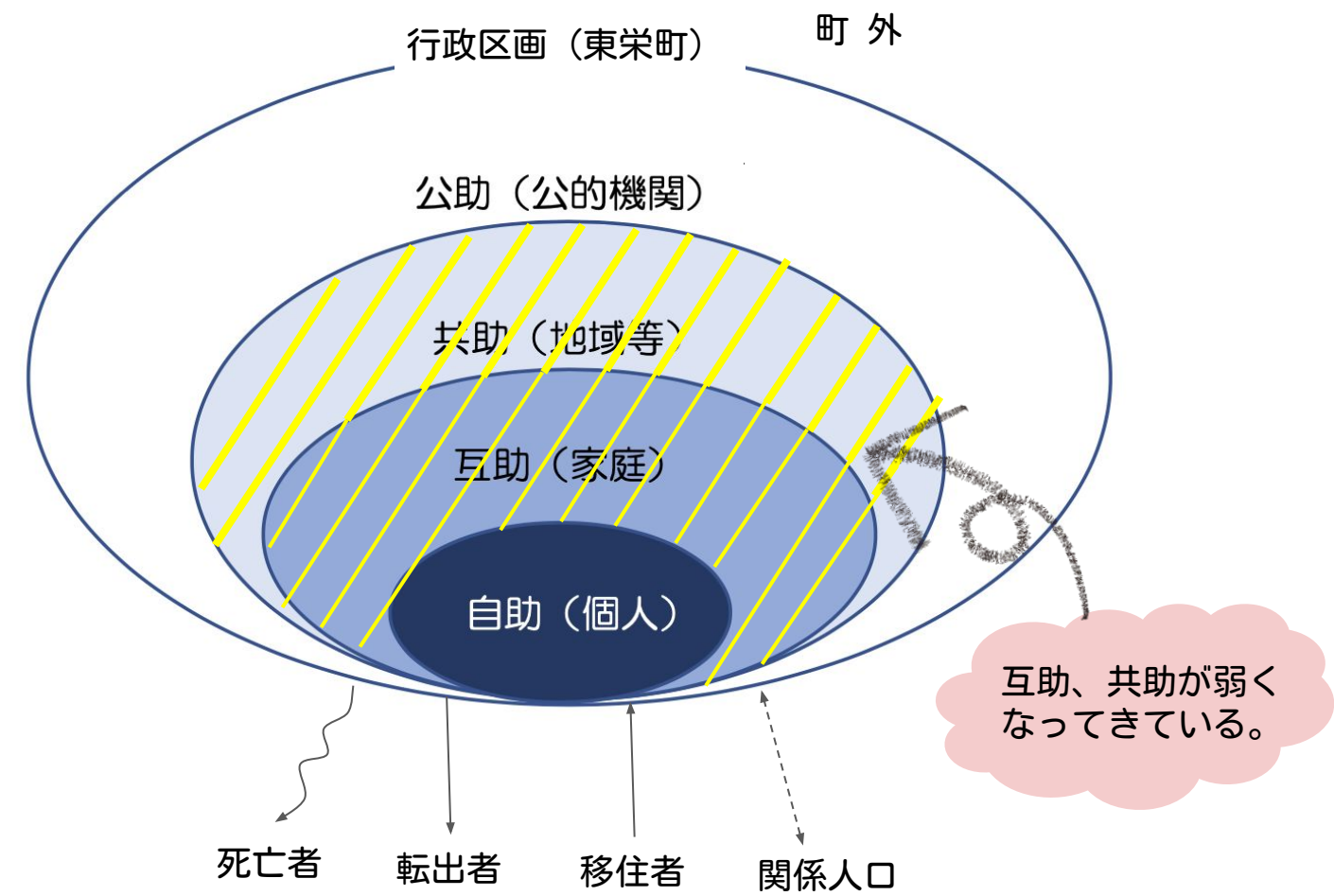
前 文	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例制定時に培われた想いを凝縮したもの ・ 条例の考え方の基準を示すもの ・ 法的な効果はない
第1章：総則	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的：「皆で町をよくしようという意識を共有することを目的とします」 ・ 条例の位置づけ：東栄町の条例の最上位
第1条：目的 第2条：定義 第3条：条例の位置づけ	
第2章：まちづくりの基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いの立場を尊重 ・ 互いに情報共有 ・ 積極的参加／合意形成／協働
第4条：まちづくりの基本原則	
第3章：町民等	
第5条：町民の権利 第6条：町民の責務 第7条：協力者	
第4章：議会	
第8条：議会の役割 第9条：議会の責務 第10条：議員の責務	
第5章：行政	
第11条：町長等の責務 第12条：職員の責務	
第6章：協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働する方法など
第13条：協働によるまちづくり 第14条：まちづくりに関する話合いの場	
第15条：参加	
第7章：条例の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例の改正や評価について
第16条：条例の見直し	

それぞれの役割や責務

まちづくりの担い手の役割分担の考え方：補完性の原理

point 2 まちづくりは、役割を分担して相互に補完しながら行われる。

point 3 互助、共助が弱くなっておりバランスを崩しはじめています。



—引用：『東栄町まちづくり基本条例解説』P18 コラムの図を編集

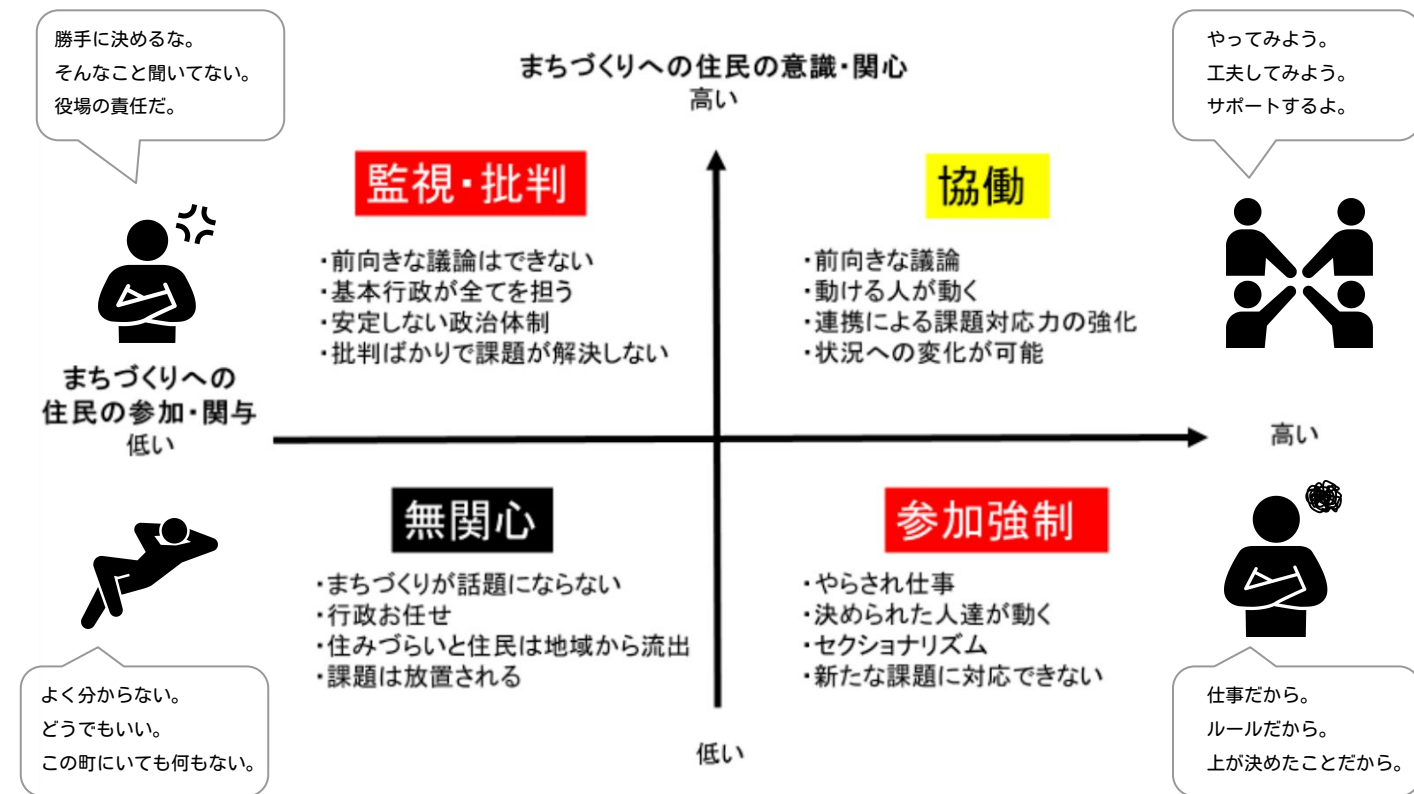
“ 補完性の原理：国や自治体、民間、個人の役割分担を考える際に、問題はより身近なところで解決されるべきとする考え方。個人でできることは個人で解決する「自助」、個人でできないときは家庭がサポートする「互助」、家庭で解決できないときは地域等がサポートする「共助」、自助・互助・共助で解決できないときは行政が行う「公助」と役割を分担してまちづくりを行うこととしている。

—引用：『東栄町まちづくり基本条例解説』P18 ”

まちづくりへの意識・関心と参加・関与

point 4 それぞれの役割を自覚し、情報共有し、主体的に参加することが重要。

point 5 今後の地域課題を解決していくには協働が不可欠。



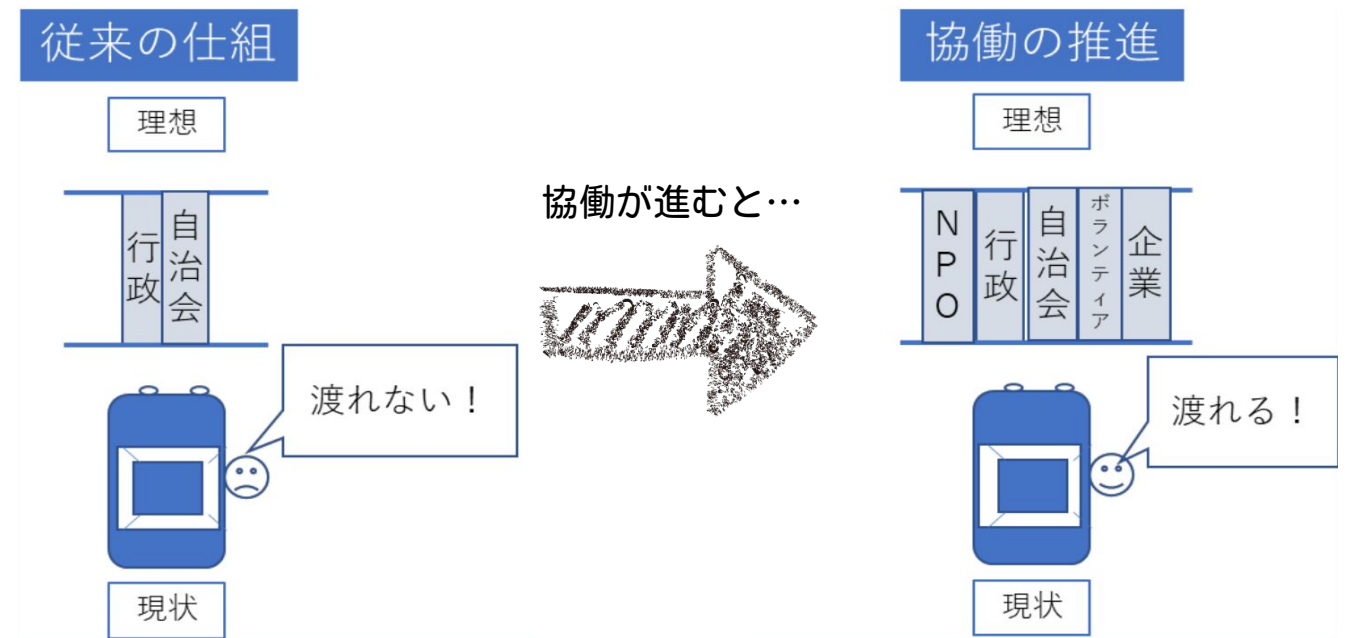
“ 第4条では、東栄町におけるまちづくりの原則として、町民、議会及び行政が行うべきことを説明しています。 —中略— 第1号では、それぞれの役割、権利や義務などを確認することで、まちづくりにおける自らの立ち位置や役割を自覚し、お互いの立場を尊重することを —中略— 第2号では、私たちはお互いに持っている情報を共有することを —中略— 第3号では、まちづくりの主体であることをそれぞれが理解し、受け身ではなく、主体的にまちづくりに参加すること、また、より大きな力でまちづくりを推進するためにお互いに協力することを定めています。あわせて、参加し協働する過程においては、誰かが一方的に物事を決定するのではなく、導き出した結論をお互いに確認し合意を得ることとしています。

——引用：『東栄町まちづくり基本条例解説』P8

協働による効果のイメージ

point 6 協働が進むと新たな担い手が誕生する。

point 7 互助、共助の担い手が多様になると理想のまちへ近づく。



“ まちづくりには、行政区や組といった既存の担い手に加え、近年ではボランティアやNPO法人といった新たな担い手も現れています。

しかし、新たな担い手の存在を知る機会がなかったり、前例踏襲により従来の方法を改善せずに継続すると、新たな担い手が参加できる機会が閉ざされてしまいます。これでは、新たな担い手の力をまちづくりに活かすことができず、まちづくりは既存の担い手に集中してしまいます。行政合理化により行政の人員や予算が削減され、少子高齢化により地域の担い手が減少する中、既存の担い手への負担は増大してしまうため、これからのまちづくりには、新たな担い手の育成、発掘及び協働が必須となります。

——引用：『東栄町まちづくり基本条例解説』P18, 19

“ 現状から理想のまちへ渡ろうとする間に橋を架ける場合、従来の仕組だけでは町民の乗った車(地域課題)の幅の方が広くて渡ることができない。多様な担い手と一緒に橋を架けることで幅が広がり、町民は理想のまちへ渡ることができる。

——引用：『東栄町まちづくり基本条例解説』P19

『東栄町まちづくり基本条例』全文

東栄町まちづくり基本条例

私たちは今、豊かな自然と伝統文化に囲まれた東栄町で、心豊かな毎日を送っています。これは、先人たちが、まだ見ぬ未来の私たちを想い、この地域を大切に守り、育んできたお陰です。私たちには、この大切なふるさと東栄町を、努力により改善発展をさせ希望の持てる町にして、未来を担う子どもたちにつなげていく責任があります。

私たちは、これまで先人が行ってきたように、話し合いを重ね、互いの多様性を認め合い、活動に参加する仲間を増やすことによって大きな力を集め、まちづくりを進めます。今を生きる私たちが、東栄町に暮らし関わる全ての人が幸せを実感できる町を目指し、楽しく自由と希望にあふれた活気あるまちづくりに取り組むことが、未来を生きる子どもたちの明るい展望につながります。

私たち一人ひとりの小さな思いや行動が、世代を超えた未来への橋渡しとなるよう、町民、議会、行政が手を取り合ってまちづくりを推進するための仕組みとして、ここに東栄町まちづくり基本条例を制定します。

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、東栄町のまちづくりに関する基本的な理念及び事項を定めることで、住民をはじめとする東栄町に関係する人々が幸せに暮らすことのできるまちづくりを行い、その過程において立場の違う人の価値観を認め、皆で町をよくしようという意識を共有することを目的とします。

(定義)

第2条 この条例において使用する用語の意義は、次のとおりとします。

(1) 町民 町内に住所を有する人、町内で働く人若しくは学ぶ人又は町内において公益活動を行う個人又は団体をいいます。

(2) 行政 執行機関である町長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会の総称をいいます。

(3) まちづくり 住みやすく暮らしやすい町にするため、町民、議会及び行政が考え、決め、行動し、及び評価すること、並びにその担い手としてお互いに育ち、育てることをいいます。

(4) 協働 町民同士又は町民、議会及び行政が互いの立場を尊重し、連携及び協力しながら力を発揮してまちづくりを行うことをいいます。

(条例の位置付け)

第3条 議会及び行政は、他の条例、規則その他の規定により制度を設ける場合、又は実施しようとする場合においては、この条例の趣旨を尊重します。

第2章 まちづくりの基本原則

(まちづくりの基本原則)

第4条 まちづくりの基本原則は、次のとおりとします。

(1) 町民、議会及び行政は、それぞれの役割、権利、義務等を確認し、互いの立場を尊重します。

(2) 町民、議会及び行政は、互いに情報を共有します。

(3) 町民、議会及び行政は、積極的にまちづくりに参加し、合意形成を行い、協働します。

第3章 町民等

(町民の権利)

第5条 町民は、まちづくりの主体であり、積極的にまちづくりに参加することができます。

2 町民は、まちづくりに参加するために、議会及び行政の情報を知る権利を有し、議会及び行政に対しその保有する情報の公開を求めることができます。

(町民の責務)

第6条 町民は、まちづくりを自らが行うものであると自覚し、互いに住みやすく暮らしやすい町の実現に努めます。

2 町民は、まちづくりに関する情報を知るように努めるとともに、他の町民、議会及び行政の意見に耳を傾け、互いの考えを尊重し、町の将来を共に考えます。

3 町民は、他の町民、議会及び行政と協働して積極的にまちづくりに参加するよう努めます。

(協力者)

第7条 町民、議会及び行政は、前文に賛同する個人又は団体であってまちづくりに協力するものに、まちづくりの多様な参加の機会を与えることができます。

第4章 議会

(議会の役割)

第8条 議会は、住民の直接選挙により選ばれた議員によって構成される意思決定機関です。

2 議会は、議決機関として、町民の視点から町政運営を監視し、必要に応じ政策提言及び立案を行います。

(議会の責務)

第9条 議会は、広く町民の声に耳を傾け、その思いを的確に反映させるため、政策提言及び立案のための能力向上に努めます。

2 議会は、将来に渡るまちづくりの展望を持ち、町民及び地域の意見が反映されるよう努めます。

3 議会は、会議及び委員会を公開し、公正性、透明性及び倫理性を確保しつつ、開かれた議会運営に努めます。

(議員の責務)

第10条 議員は、町民の代表者としての責務を認識し、広く町民の利益に資するため、公正かつ誠実な職務を遂行するとともに、自己研さんに努めます。

2 議員は、積極的な参加と協働によりまちづくりを率先して進めます。

第5章 行政

(町長等の責務)

第11条 町長は、町政の代表者として、町の方向性に対する自らの理念を持ち、町民と意見交換を行い町の方針を作成し、町政を運営することで、この条例の目的を実現するためにまちづくりを推進します。

2 町長は、前項のまちづくりを推進するために、組織及び仕組みづくり並びに人材育成を行います。

3 行政は、町民及び議会と積極的に情報を提供及び共有し、協働してまちづくりを行います。

(職員の責務)

第12条 職員は、まちづくりのため、町民と意見交換を行うとともに、得た情報は行政内部で共有することを怠らず、公正かつ誠実に職務を行います。

2 職員は、まちづくりを行うに当たって職務に必要な専門的知識の習得及び能力向上を行います。

3 職員は、自らも地域社会の一員であることの自覚をし、職員として培った知識や経験を活用し、積極的に町民としての責務を果たします。

第6章 協働

(協働によるまちづくり)

第13条 協働によるまちづくり活動において、主導的な役割を果たす町民、議会及び行政(以下「リーダー」という。)は、その活動に参加する他の町民、議会及び行政と対等な立場で活動します。

2 協働によるまちづくり活動に協力する町民、議会及び行政は、活動が円滑となるよう、リーダーを支援します。

3 町民、議会及び行政は、協働によるまちづくり活動を推進するため、前2項の役割を果たすものを拡充するよう他のものに働きかけます。

(まちづくりに関する話し合いの場)

第14条 町民、議会及び行政は、町民がまちづくりの主体であることを意識し、協働に参加する機会を提供するため、町民がまちづくりや協働について意見交換を行う場(以下「話し合いの場」という。)を設けるよう努めます。

2 話し合いの場を主催する町民、議会及び行政(以下「主催者」という。)は、目的を明らかにする等、効果的な話し合いとなる運営に努めます。

3 主催者は、参加者に対し、互いの考えや立場を尊重して話し合うことを説明する等、活発な意見交換がされる運営に努めます。

4 主催者は、参加者の意見を集約し、参加者の意見に基づき結論を得る運営に努めます。

5 話し合いの場に参加する町民、議会及び行政は、話し合いが円滑に進行されるよう、運営の協力に努めます。

(参加)

第15条 議会及び行政は、まちづくりの企画立案、決定、実施、評価及び終了の過程において、町民の参加を保障し、多様な参加の機会を設けます。

2 議会及び行政は、まちづくりへの参加者が必要とする情報の提供や専門家の派遣等、積極的な意見交換への支援をします。

3 町民、議会及び行政は、協働によるまちづくり活動への参加又は不参加を理由として差別的な扱いを受けないとともに、差別的な扱いを行いません。

第7章 条例の見直し

(条例の見直し)

第16条 町長は、5年を超えない期間ごとにこの条例を見直し、必要な場合は改正を行います。

2 前項について町民は、町長に対し見直し及び改正を求めることができます。

3 町長は、1年を超えない期間ごとにこの条例を評価する場を設けます。

附則

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

おわりに

今年度の「座談会」を取りやめる決断までに、私たちは『まちづくり基本条例』を学び、ワークを行い、過去の実行委員の方々の話に耳を傾け、話し合いを重ね、「葛藤」を通過しました。

今年度の実行委員会会議の中盤



葛藤

「座談会」をやめるにあたっての心理的葛藤

この時、私たちは「まちづくり」や「まちづくり」にまつわる課題を理解するために、会議外で、それぞれが考え、行動してもいました。この資料にも出てこない、語られていない小さな物語が、いくつもあったに違いありません。

20代から60代までの幅広い年代の男女で、個人で事業をされている方や会社を経営されている方、お勤めの方やこれから新しい事に挑戦される方など、実に多様なメンバーが集まった令和3年度まちづくり実行委員会。

勇敢で尊重しあえる発言と、前向きで思いやりのある行動がお互いを勇気づけ、委員全員でこの「葛藤」を乗り越えることができました。

そして、その後の仮説と試行によりわずかな示唆を得て、一つの答に手を触れられたような手応えもありました。

全8回行われました、令和3年度東栄町まちづくり実行委員会会議では、決して大きな打ち上げ花火を上げられたわけではありません。小さな線香花火をみんなで見つめて、ささやかに楽しみ喜ぶものでありました。

最後に、私たち実行委員会の成果や会議のプロセス、それぞれの委員の感想が紡がれて、この町の素敵な未来へと続いていきますように、委員一同、心を込めて願っております。

—— 令和3年度東栄町まちづくり実行委員会

参考資料等

- ・『東栄町まちづくり基本条例』
- ・「東栄町まちづくり基本条例解説」
- ・「まちづくり基本条例って？」 [「広報とうえい」2018年2月号抜粋]



令和3年度

東栄町まちづくり実行委員会 委員

伊藤 優希

原 寿則

澤井 一慶

森田 泰史

浅尾 大輔

木村 圭太

山本 三樹雄

井筒 江里子

山本 貴子

糟谷 成美

尾崎 あゆみ

和合 真由美

